

「育成すべき資質・能力」の具体の姿

	知識・技能	思考力	表現力	主体性
後期	様々な場面で活用することができる知識・技能を身に付けている。	課題解決に向けて、収集した情報を抽象化したり、構造化したりして、解決策(新たな価値)を考えることができる。	発展させた自分の考えや集団の考えを、状況に応じて、適切に表現したり、伝え合ったりすることができる。	課題解決に向けて、自分で目標を見だし、協働して取り組み、様々な場面で実践することができる。
中期	学習過程において活用することができる知識・技能を身に付けている。	課題解決に向けて、情報を多面的・多角的に見たり、根拠を基に理由付けしたりして、解決策を考えることができる。	自分の考えや集団の考えを、目的や相手によって、効果的に表現したり、伝え合ったりすることができる。	課題解決に向けて、自分の考えを明確にもち、協働して取り組むことができる。
前期	学習に必要な基礎的、基本的な知識・技能を身に付けている。	課題解決に向けて、事象を比較したり、分類したり、関連付けたりして、解決策を考えることができる。	自分の考えを、分かりやすく表現したり、伝え合ったりすることができる。	課題解決に向けて、興味をもって、自分から取り組むことができる。

【考える技法】

後期	抽象化する (一般化する, 統合する)	対象に関する上位概念や法則を挙げたり、複数の対象を一つにまとめたりする。
	構造化する	考えを構造的(網構造・層構造など)に整理する。
中期	多面的に見る 多角的に見る	対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる複数の角度から捉えたりする。
	理由付ける (原因や根拠を見付ける)	対象の理由や原因、根拠を見付けたり予想したりする。
前期	比較する	複数の対象について、ある視点から共通点や相違点を明らかにする。
	分類する	複数の対象について、ある視点から共通点のあるもの同士をまとめる。
	関連付ける	複数の対象がどのような関係にあるかを見付ける。 ある対象に関係するものを見付けて増やしていく。